

平成30年上半期分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年上半期分について、輸出は「半導体等電子部品」、「医薬品」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「自動車用等の電気機器」、「電気計測機器」などが増加したことから対前年同期比16.5%の増加となった。また、輸入は「原動機」、「半導体等製造装置」などが増加したものの、「医薬品」、「自動車の部分品」、「事務用機器」などが減少したことから、同48.3%の減少となった。

その結果、差引額は176億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	5,009億円	+16.5%	5,185億円	+11.7%	▲176億円	▲48.3%
2期連続の増加		2期連続の増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	447億円	+127.0%	輸入	増加品目	(1) 原動機	594億円	+67.9%	
		(2) 自動車用等の電気機器	158億円	+136.2%			(2) 半導体等製造装置	70億円	+275.1%	
		(3) 電気計測機器	394億円	+14.5%			(3) 半導体等電子部品	448億円	+12.4%	
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	355億円	▲13.4%		減少品目	(1) 医薬品	597億円	▲19.3%	
		(2) 医薬品	65億円	▲32.7%			(2) 自動車の部分品	89億円	▲11.0%	
		(3) 通信機	27億円	▲29.4%			(3) 事務用機器	120億円	▲8.1%	
	主要地域 増減	EU、アジア、アメリカが増加				主要地域 増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少			

（参考）ドルレートは、108.93円（前年同期比3.5%、3.90円の円高）であった。

（注）期間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。